

「みどりの保育園」推進事業

クロマツ探検隊 PART II

「万里の松原」と庄内海岸林を訪ねて！

9月とはいえ残暑がのこる秋晴れのなか、9月10日（水）に西荒瀬保育園の年長組36名が参加して、「みどりの保育園」推進事業クロマツ探検隊PART IIが開催されました。9時に保育園をバスで出発した園児達は、一路、森林ボランティア団体「万里の松原に親しむ会」の活動拠点である酒田市光ヶ丘の松陵地区へ向かいました。到着すると万里の松原に親しむ会の三沢会長さんや役員の方々が笑顔で出迎えてくれました。三沢会長さんからは、万里の松原の歴史や保全するための活動、また整備されたフィールドが酒田市民から活用されていることが説明されると、園児達は熱心に耳を傾けていました。説明後は三沢会長の案内で、フィールド内のあやめコースや自然観察教育林内の探索を行いました。探索コースでは松ぼっくりの食痕やミミズを発見して大騒ぎしました。三沢会長から、森が豊かだと色々な動物や昆虫が住処としていることを教えられ、森林を大切にすることを少し理解できたようでした。また、以前に植林したクロマツが園児達と同じ年齢だとの説明に、クロマツの成長の早さにびっくりし、百数十年を超えてもなお成長しているクロマツの偉大な一面にも感激したようです。万里の松原探索後は再びバスに乗り込み、酒田北港にある緑地展望台に向かいました。酒田北港の緑地公園の展望台は7階の高さから日本海や酒田北港、それに庄内海岸や鳥海山を展望できます。展望台から眺めると、壮大なクロマツの海岸林に守られている庄内海岸の様子が良く判り、保安林としての役割と大切さについて園児達も理解を深めてくれました。当日は野外でのネイチャーゲームも計画していましたが、残暑が厳しいことから計画を変更して保育園に戻り、室内でダンスを楽しみ探検隊を無事に終了しました。次回は10月に「みどりの保育園」推進事業第三弾「みどり再生里親活動」で、鳥海山麓で森林の持つ多様性を学習し、ブナやナラの実を採取する予定です。それを保育園で育苗して2～3年後に山へ戻すことを計画しています。次回の講師は、テレビでお馴染みの白壁洋子さんに依頼をしていますので、どんな話が聞けるのか今から楽しみです。



勢揃いしたクロマツ探検隊員



案内は万里の松原に親しむ会の三沢会長



酒田北港緑地展望台前での記念撮影（ハイ、ニッコニコ）